

暑さが厳しい夏、うさぎ組の子どもたちは泥んこや寒天、片栗粉の感触遊び、色水やシャボン玉遊び等、夏ならではの遊びを元気いっぱい楽しみました。「どろどろになった〜」「つめたいね」と感じたことを話したり、じっくりと熱中する姿や友だちと笑い合う姿が見られたりと、一人ひとりに様々な発見や楽しさがあったようです。そして何より、大きなプールで遊ぶ時は、たくさんの歓声が聞こえてきました。水の中でワニさんやラッコさんに変身して泳いだり、ビーチボールや浮き輪で遊んだり、夏の遊びを満喫していました。また水遊びやプールの後でも、「つぎはゲームする?」と、まだまだ体力があるうさぎ組は、手裏剣投げや信号ゲーム、フルーツバスケットなど、様々な集団ゲームも楽しみました。何度か繰り返すうちに、「スイカゲームしたい!」「たからさがしがいい!」と子どもたちからのリクエストも増えていきました。椅子取りゲームでは座れなくても「がんばれ!」と友だちを応援したり、果物運び競争では二人一組で「せーのーで!」と声を掛けて力を合わせたりと、集団ゲームを通して友だちの思いに共感しながら達成感を味わう姿も見られ、成長を感じました。

今月は運動用具を使ったサーキット遊びやリズム、体操などを楽しみます。ダイナミックに体を動かす楽しさや、様々な動きに挑戦する面白さを感じられるよう、一人ひとりの心の動きに寄り添い、見守っていきたくと思います。また、初めてエプロンを着てクッキングも予定しています。食材が変化する面白さや、自分たちで作って食べる喜びを一緒に感じていきたくと思います。



うさぎぐみでは、野菜を食べると体が元気になり、「ムキムキになれる!」と、意欲的に野菜を食べる姿が増えています。ある日、AくんとBくんは野菜をモリモリ食べ、おかわりもしました。食べ終わると、服をめくってお腹を見せ合いっこし...

Aくん(お腹をへこませて...)  
「うわ!むきむきになった!」  
Bくん(たくさん食べて大きくなった  
Aくんのお腹を見て...)  
「ほんまや、むきむきや!」と、とてもかわいらしいやりとりが繰り返されていました!

今年も酷暑となりましたが、子どもたちは夏の遊びを楽しみながら元気に過ごしました。プールや泥んこ遊び、色水遊び、泡遊びなど、「きょうはなにをするの!？」と毎日楽しみにしていた子どもたち。水の心地良さを全身で感じたり、感触の面白さを味わったり、心も体も動かしながら楽しむ様子が見られました。

ひつじ組ではカプラ積み競争が大ブームです。たくさんあるカプラを使って、少しでも高く積もうと工夫したり、友だちと力を合わせたりして楽しんでます。「いっしょにしょ!」「ちょっと、ここもって!」とお互いに声をかけ合いながら協力し、さらに高く積み上げることを目指しています。また、友だちとの関わりが深まってきた今、友だちへかける言葉の意味や使い方を一緒に考える時間を作っています。相手の気持ちを考えながら「ふわふわ言葉」を見つけようとする子どもたちの表情は、とても優しく、その姿を見ているだけでとても温かい気持ちになります。自分の思いを伝えるだけでなく、相手の気持ちにも心を向けられるような関わりを大切にしていきたいと思っています。

今月はパラバルーンや運動遊びなど、体を動かすことを楽しむ中で、友だちと一緒に力を合わせる喜びや、チャレンジすることの楽しさを感じながら過ごしたいと思っています。子どもたちの「やってみよう」という気持ちに寄り添いながら、取り組んでいきたいと思っています。



プランターで栽培したトマトを使い、クッキングを楽しみました。

Aくん「これってもしかしてひつじぐみのトマト!?!」  
Bちゃん「うわあ、おいしそ〜…。このままたべたいな!」  
Cくん「あかんで!ピザにしたらもっとおいしくなるねんで!」  
Aくん「じゃあみんなのピザに1枚ずつのせないと!」

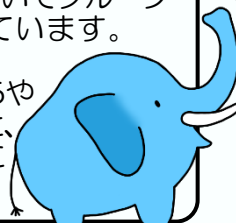
特別なトマトをみんなで一緒に食べようと提案する姿からは、収穫の喜びや友だちと一緒に食べられることへの嬉しさや喜びがまっすぐ伝わってきました。

9月になりましたが、まだまだ残暑が続く毎日です。夏の間はプールや泡遊び、片栗粉遊び等、夏ならではの感触遊びをたくさん楽しみました。ホールでも友だちと協力しながら遊ぶゲームをしたり、組体操ごっこをしたりと、たくさん体を動かして遊びました。

そんな中でも、子どもたちの中で話題に上がることと言えば、やはりお泊まり保育のことです。「もう少ししたらお泊まり保育だね!」「先生、もう明日には行っちゃおうよ」と胸を躍らせている子どもたちです。しあわせの村の写真を壁面に掲示すると、「ここにもあそこにも行きたいね」「みんなでお風呂に入るのも楽しみ!」と子どもたちで話す姿が見られました。『キャンプだホイ』のぞう組お泊まり保育バージョンの替え歌を作ろうということになり、あっという間に歌詞もできあがり、子どもたちがとても楽しみにしていることが伝わってきました。

また、キャンプファイヤーの時に行うスタンツの内容についてグループ担当の保育者とこっそり話し合っ準備を進めて行っています。各グループどんな内容になるかは当日のお楽しみです。

お家の方と離れて過ごす不安もあると思いますが、友だちや保育者と互いに協力したり、自然の中で様々な経験をしたりと、一つひとつの経験が子どもたちの自信に繋がるように大切に過ごしたいと思っています。



プール終わりにシャワーの列に並んでいる時のこと。

子どもたちがふとテラスの天井を見上げると、細長い光の存在に気が付きました。「わあ!天井がキラキラしてる!」「これはきっと龍だね」「どこから来たんだろう」「空から来たんだよ、かっこいいね」と天井を見上げながら話す子どもたち。正体は、プールの排水が溝を通った時に太陽の光が反射したものでしたが、子どもたちの想像力の豊かさにほっこりしました。